

## 第35回神戸電鉄粟生線活性化協議会

日時：平成30年7月24日（火）

午前10時～午前11時

場所：三木市役所5階 大会議室

### 1 開会

#### ○事務局

失礼いたします。それでは、定刻となりましたので、ただいまから第35回神戸電鉄粟生線活性化協議会を開催いたします。

私は、協議会事務局の三木市都市整備部長の●●と申します。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、開会に当たりまして、当協議会の会長でございます仲田三木市長から御挨拶をお願いいたします。

#### ○会長

皆さん、おはようございます。第35回目、本年度2回目となります粟生線活性化協議会を開催いたしましたところ、こうしてお忙しい中にも関わりもせずお集まりをいただきましたことに、まずは厚く御礼を申し上げます。

今日は、事業報告、また、29年度協議会の歳入・歳出決算、また、毎年行っております国への要望についての案について御協議をいただくわけであります。どうぞよろしくお願いを申し上げたいと思います。

また、後ほど報告事項等ではありますが、本年は神戸電鉄さんも90年を迎える節目の年でありますので、皆さんで活性化協議会を盛り上げていきたいというふうに思っております。

また、ここで三木市のことで恐縮なのですが、今年の3月に焼失いたしました三木駅の復興につきまして、本当に多くのかたがたから過分なるお志、お気持ちのこもった御寄附を頂戴いたしました。このたび、私ども、粟生線サポーターズくらぶという窓口でありましたが、三木市独自でいわゆる皆様がたの尊い御寄附をいただく受け皿を作らせていただきました。いろいろな形で御寄附いただいたかたに厚く御礼を申し上げますとともに、また今後とも御支援のほうをよろしくお願いを申し上げます。

また、三木駅舎周辺整備につきましては、明日、また検討協議会ということで、関係の機関と会議をさせていただきますので、またよろしくお願いを申し上げたいと思います。

今日はまた限られた時間ではありますが、忌憚のない御意見をいただきまして、有意義な会にしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げて、開会の挨拶といたします。よろしくお願いたします。

#### ○事務局

ありがとうございました。

### 2 委員の交代

#### ○事務局

それでは会議に入ります前に、人事異動によりましてこのたびから協議会に新たに

参画をいただいている委員様を御紹介いたします。

国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課長の●●様でございます。

○●●委員

●●でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局

よろしくお願いいたします。

次に、本日の委員の出席を御報告いたします。

本日につきましては、25名中19名の出席、オブザーバー6名中3名の出席でございます。本日の出席につきましては、さきほどの19名でございます。過半数以上の出席をいただいておりますことから、協議会規約第8条第4項の規定によりまして本会議は成立していることを御報告いたします。

それでは、3の議事に入らせていただきます。

これからの進行につきましては、仲田会長よりお願いいたします。

### 3 議事

(1) 議事1号 平成29年度の協議会の事業報告について

(2) 議事2号 平成29年度の協議会の歳入・歳出決算及び監査報告について

○会長

それでは、式次第3番、議事に入らせていただきます。

議事第1号、29年度の事業報告並びに議事第2号、29年度協議会の歳入・歳出決算及び監査報告について、まずは議事に入らせていただきます。

まず、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

失礼いたします。交通政策課長の●●でございます。

議事につきましては、私のほうから報告あるいは説明をさせていただきたいと存じます。

以下、着座の上、失礼をいたします。

それでは、お手元の議事1号、資料1、そして議事2号、資料2ということで、それぞれ御用意をお願いいたします。

本日につきましては、昨年度の当協議会の歳入・歳出決算の報告ということもございまして、事業報告も併せて資料としてお付けをしているところでございます。この資料1、事業報告につきましては、4月に行いました協議会の内容から全く変わってございません。4月の段階で事業報告、事業内容については詳しく報告をさせていただいたということでございますので、本日、この場にての改めての説明というものは時間の関係上割愛をさせていただきたいと思っておりますので、適宜お手元において御参照いただきたいと思いますというふうに思っております。

それでは、資料2でございます。平成29年度の協議会の歳入・歳出決算及び監査報告についてということで、まずは歳入・歳出決算の御報告をいたします。

まず、歳入でございます。

科目、負担金につきましては決算額1,486万8,354円ということで、神戸市、三木市、小野市、そして神戸電鉄さんからの協議会の負担金ということで、協議会を運営していくためのメインとなるお金の収入ということでございます。

それから、2の補助金につきましては、決算額46万8,504円ということになっております。これにつきましては、地域公共交通調査事業（計画推進事業）ということで、それに係る国からの国庫補助金ということで収入をいたしました。これにつきましては、既に御報告等をしてしておりますけれども、鉄道とバスの広域時刻表「粟生線&バス乗継ガイド」というものをこちらで用意いたしました、その作成費に充当をさせていただきました。

それから、科目3、繰越金でございます。決算額といたしましては13円でございます。これについては28年度からの繰越金が2円、そして28年度につきましては形成計画を策定する年度ということで、本会計とは別に特別会計を設置してございましたが、形成計画の策定を行いました特別会計を閉じるに当たりまして、預金口座の解約利息ということで11円がございました。こちらにつきましても、28年度からの繰越しの扱いということでこの科目で収入を区分いたしました、合わせて13円の決算額となっております。

それから、科目4の諸収入といたしまして、歳入決算額が37円。こちらについては預金利息でございます。

以上を合わせて、歳入決算額といたしましては1,533万6,908円となっております。

それから、続きまして歳出でございます。

こちらにつきましても、科目1の運営費でございますが、決算額が79万9,852円ということです。こちらにつきましては、昨年度協議会を3回開催しております。4月、8月、12月と開催をいたしました運営経費でございます。それから、主なものといたしましては形成計画を作りました。その後、周知・PRを更に図るために、計画の印刷製本費、増刷を行っております。それらの分が主な内容となっておりますが、決算額といたしましては約80万弱という額になったところでございます。

それから、科目2の事業費でございます。こちらにつきましては1,453万7,052円ということで決算になっております。こちらにつきましては、当協議会、形成計画に基づきますさまざまな事業を展開してまいりました。お手元にあります資料1に掲げておりますさまざまな事業の内容です。「粟生線&バス乗継ガイド」、そういった作成でありますとか、29年度につきましては駅の美装化ということで4駅の美装化を行っております。あるいは、粟生線の全線開業65周年記念ということで、しんちゃんのぬいぐるみを製作したり、あるいは3月には山田錦まつりへの貸切イベントの運行、さまざまな事業を行った事業費の合計ということでございます。

科目の3、返還金につきましては、決算額はゼロ。

4、繰越金につきましては4円ということで、こちらについては30年度への繰越しとなります。

歳出につきましても、1,533万6,908円ということで決算を打たせていただいたところでございます。

以上、29年度の歳入・歳出決算の御報告といたします。

○会長

はい、ありがとうございました。

それでは、ここで何か質問等はございますでしょうか。

○事務局

会長、すみません。そうしたら、この後、会計監査報告ということで、神戸市の●●委員のほうから御報告をお願いしたいと思います。

○会長

ちょっとその前に御意見はいいですか。

それでは監査委員ということで、●●委員さん、よろしくお願いします。

○●●委員

それでは、会計監査の報告をさせていただきます。

平成29年度の神戸電鉄粟生線活性化協議会、歳入・歳出決算につきまして、決算書と証拠書類等を照合させていただきました。その結果、いずれも適正に管理され、違算なきことを確認しましたので、ここに御報告いたします。よろしくお願いします。

○会長

監査報告、ありがとうございました。

ここで、第1号議案、第2号議案、何か御意見、御質問がありましたら挙手にてお願いをいたします。

なければ、第1号議案、第2号議案、承認ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。では、承認をされました。

### (3) 議事3号 神戸電鉄粟生線活性化の取組等に対する支援に関する国への要望について

○会長

続きまして、議事第3号、神戸電鉄粟生線活性化の取組等に対する支援に関する国への要望について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

続けて、失礼をいたします。それでは、資料3、国への要望についてということで資料をお願いしたいと思います。

国への要望につきましては昨年度も行っているのですが、30年度、今年度につきましても、引き続き、国のほうへ要望を実施してまいりたいと考えております。今から御説明をいたします要望の趣旨でありますとか、要望の内容につきましては昨年度と同じものとなっております。しかしながら、改めて説明のほうをさせていただきたいと思っております。

資料の1、要望の趣旨というところでございますが、こちらにつきましては重要な内容となっておりますので、文章のほうを少し読み上げをさせていただきたいと思っております。

国と地方が一体となり中長期的な視点に立って「地方創生」に取り組んでいる中、交通ネットワークの強化により地域間のつながりを確保し、相互連携や交流の促進を図ることがますます重要となっております。

このため、住民その他の者の交通に対する需要に配慮した交通手段の整備を効果的・効率的に行っていく必要があることから、国に対し、次に掲げる内容について積極的な取組及び支援を要望するものでございます。

要望の趣旨としては3点ございます。

まず、1点目です。鉄道安全輸送設備等の整備に対する支援制度を堅持・拡充し、国において十分な予算を確保することとしております。鉄道安全輸送設備等ということで、踏切、保安設備、レール、枕木、電柱、車両の修繕、さまざまな安全輸送に資する取組に対する国の補助制度があるわけでございますけれども、引き続き、その支援制度の堅持・拡充ということでございます。

一方で、形成計画におきましては国庫補助金の活用を前提といたしまして、形成計画の取組期間中、5編成以上を新型車両に更新する予定ということで計画の中であつたわさせていただいております。こうしたことから、とりわけ新型車両の導入ということにつきまして国のほうへ引き続きの支援を要望してまいりたいという趣旨でございます。

それから、二つ目です。地域公共交通調査事業（計画推進事業）について、補助対象範囲の拡充（利用促進を目的とした社会実験の実施に要する経費等）及び期間の延長（現行2年を5年に）を図ることとしております。こちらにつきましても昨年度と同様の内容でございますけれども、まずは補助対象範囲の拡充ということになっております。現在につきましては、総合時刻表なり、そういったものの作成経費ですとか、企画切符の発行に要する経費とかというようなことで、補助対象範囲が限られているといったような現状もございますことから、粟生線の利用促進につながるような、また、利用促進を目的とするような社会実験の実施に要する経費についても補助対象範囲を広げていただきたいという内容でございます。

一方、期間の延長ということで、2年を5年ということにさせていただいております。計画を作りまして、計画を推進中でございますけれども、補助対象の年度が30年度をもって満了するということになっております。ですので、5年程度の中長期な視点による支援をお願いしたいということで、期間の延長についても併せて要望を行うものでございます。

それから、3点目でございます。粟生線は、大規模災害が発生した場合における多数の者の移動手段及び物資の円滑な輸送手段として必要不可欠な路線であることから、将来にわたる同線の存続について支援することとしております。こちらにつきましても、粟生線の地理的な重要性といいますか、粟生線が持つ役割に着目した要望内容ということでさせていただいております。粟生線につきましては、日本のほぼ中央部分に位置をするということ、東西の輸送ネットワークを維持する上で必要な路線というふうに考えております。また、北播磨地域の基幹の駅であります粟生駅におきまして、JR加古川線、北条鉄道等と接続をしており、他の民間鉄道路線と相互補完の役割を果たしている鉄道ネットワークの一部を形成しているというようなところ。それから、かつての阪神・淡路大震災のような災害時における他路線の代替機能を果たす重要な役割を有していると。そういったことから、こちらについても昨年度と同様、要望の内容とさせていただくものでございます。

次に、資料の2、要望者につきましては本協議会の会長であります仲田市長でございます。随行者といたしましては、県、神戸市、三木市及び小野市の各委員ということで対応してまいります。

それから、3の要望先、現時点の予定でございますけれども、こちらも昨年と同様になりますが国土交通省の総合政策局あるいは鉄道局、そういった部署に要望をしてまいりたいと考えております。

それから、4の要望時期、こちらも現時点での予定でございますけれども、9月の中旬頃を予定で、今現在調整中ということでございます。

それから、要望書の案ということで後ろに付けさせていただきます。資料の3の2が要望書の表紙、そして資料の3の3ということで、時間の関係もございまして、逐一読み上げ等はできませんけれども、要望書の構成であるとか、作りについて若干触れたいと思っております。

資料の3の3につきましては、まずは神戸電鉄粟生線についてということで、粟生線の概要を記しております。粟生線につきましては、沿線地域の通勤、通学等に利用されている鉄道路線、さきほど申し上げました地域の広域的な鉄道ネットワークの一部として機能している鉄道であるということ。阪神・淡路大震災のような大規模災害におけます他路線の代替機能の役割を果たす重要な路線であるということ。しかしながら、少子高齢化等の進行によって、粟生線の利用者数は年々減少をしております、29年度の最新の数値に置き換えをいたしました815万人ということで、ピーク時の平成4年度の1,846万人に比べて約半減しているというような状況を記載しております。

続けて、後段といたしましては、沿線地域住民の取組についてということで記載をいたしております。当協議会の取組内容、形成計画に基づく取組を始めているという内容、そして、粟生線サポーターズくらぶ等による地域への取組、そうしたものについても記載をしております。

資料をめくっていただきまして、3の4でございます。こうした協議会あるいは地域の取組等によりまして、粟生線の利用者数の減少幅が緩和してきているものの、現在も減少傾向にあり、引き続き、形成計画に基づく更なる取組の強化が必要であるという内容を記載しております。

そして、次の段といたしましては、地方自治体の支援についてということで、神戸市、三木市、小野市の3市によりまして形成計画に基づき、着実に事業を実施しているということ。そして、要望の内容にも入っておりますけれども、車両更新等につきましても、引き続き、関係自治体が支援をすることといったような内容を記載しております。

そして、最後には、現在でも1日約2万2,000人が粟生線を利用している。万が一にも廃線となれば、自動車やバスだけでは輸送が困難、日常の移動手段が奪われ、生活基盤にも大きな影響が生じる。こうしたことから、粟生線の維持・存続を図るため、現在の利用促進活動を継続することが不可欠な状況であるということで締めくくっております。

そして、ページをめくっていただきまして、3の5におきまして、要望の内容をさきほど読み上げ等あるいは説明をさせていただきました内容を記載いたしまして、要望書とさせていただきます。

以上、国への要望についての説明といたします。

○会長

ありがとうございました。

議事3号、国への要望について何か御意見、御質問、また、文言訂正等がありましたらよろしく申し上げます。もしなければ、後で事務局に言っていただいてもけっこうですので、よろしく願いをいたします。

御意見はなさそうですので、ないようでしたら、議事3号、国への要望についての案であります。この線に沿って御承認いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。では、議事3号は承認されたものとさせていただきます。

#### 4 報告事項

##### (1) 粟生線の利用状況について

○会長

続きまして、報告事項に入ります。

まず、1番、粟生線の利用について神戸電鉄さんから御説明をよろしく願いいたします。

○●●委員

それでは、粟生線の利用状況について御説明をさせていただきます。

本来でしたら第1四半期の利用状況について御説明するところなのですが、御利用の前提としまして、やっぱり安全とか安心とかいうのがございまして、それが崩れると御利用もしていただけないというところで、今回の7月に入りまして大雨がございました。その影響で、その根幹が揺らいでしまいかねないような事態も発生しておりますので、まずそれについてちょっと御説明させていただいた上で、6月までの利用状況について御説明をさせていただきますと思います。

資料4の1枚目でございますけれども、7月5日から7日にかけて降り続いた豪雨の影響によりまして、ダイヤ乱れや運転見合わせなど、お客様にはたいへん御不便と御迷惑をお掛けするとともに、災害の発生で沿線の皆様にも御心配をお掛けしました。この点につきましては改めておわび申し上げます。

現在は被災箇所の応急復旧も終え、通常ダイヤに復しておりますが、当時の状況や対応、実利用者数への影響等について、下記のとおり御報告いたしたいと思っております。

なお、今回は沿線各所で災害が発生した中でも、皆様の御理解と御協力の下で幸いにも事故等を未然に防ぐことができました。安全の確保に当たり、今後も御不便や御迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、何とぞ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますということで、けっこうこれからお伝えしますが、報道されてない中でも沿線各所で大きな被害が出ております。早目に止めさせていただいたことで事故も防げたと思っておりますので、改めて御確認いただければと思います。

一つ目に、雨の状況でございますが、7月5日から7日の真夜中にかけて大雨警報であったり、あるいは大雨洪水警報が出ておりました。大変な雨量を観測したということなのですが、そこに雨量データということで、当社が沿線に設置しています雨量計のデータを付けさせていただいております。連続と1時間がございまして、連続というのは降り始めからの積算雨量でございます。1時間は連続した1時間の雨量ということで、連続雨量の中に200ミリ超というところがあるんですけども、ここは一つは運転規制等を考える、規制が掛かるような基準で、当社によるベタに言いますと警報が鳴るといような状態で、7月5日のお昼ぐらいから警報が鳴り出したというようところでございます。その下の最大雨量を見ていただくと、有馬口で見ると691ミリという非常にすごい量の雨が降ったと。当社が平成13年にこの雨量計を

設置したのですが、過去の最大値は430ミリということですから、台風でもそれぐらいだったのに今回はこれぐらい降ったということですから、いかに多くの雨が降ったということが分かります。更に、最大の1時間では40ミリを超えるような強い雨が降ったということで、それぞれの日時に観測したかということデータをデータでお示しさせていただきます。

次に、列車の運行状況ですけれども、この影響がまず出たのが7月5日の10時から14時22分にかけて、粟生線の西鈴蘭台と押部谷の間で運転を見合わせさせていただきました。これは河川が雨の影響で増水したため、それが橋桁の下の辺りまで水面が来るといぐらい増水して危険な水位になっておりましたので、この間の運転を見合わせさせていただきました。一旦引いたので、ここで運転見合わせを解除して運行を復帰したということなのですが、その後も大雨が降り続いて土砂崩れ等の災害が生じる可能性が高まったため、比較的雨量の少なかった粟生線の粟生駅と押部谷駅、有馬三田線の三田駅から岡場駅及び公園都市線を除く区間でおおむね20時から21時頃にかけて運転を見合わせると。早目に運転を止めますよということを知らせていただいて止めていったということで対応をさせていただきました。このように事故の予防措置を取ったということでございます。

次の4の2に行ってくださいまして、その後も雨の勢いは衰えることなく、7日の夜間にかけて断続的に降り続けました。このため6日の始発から7日の終着、丸2日間というところで全線で運転を見合わせ、事故を予防するとともに同期間に発見された災害箇所の応急復旧に当たりました。そして、7日の夜間から8日の未明にかけて雨が小康状態になったことから、応急復旧工事がまだ間に合わなかった粟生線の粟生駅と西鈴蘭台駅を除く区間で、8日の始発から運転を再開したと。その後、応急復旧工事の進捗に合わせ、8日の17時頃に不通区間を解消。ただし、この時点では木津と西鈴蘭台の間はバスによる代行輸送といったことで再開し、9日の16時にはバスによる代行輸送も解消して、全線で通常の運行に復しましたということで、当時の対応について記載しております。

三つ目にどういった被害が生じたかということで、粟生線で生じた主なものを記載させていただきます。ここに記載しているものを含めまして沿線で大小を含めて20以上の被災箇所がございますが、ここに書いているのはその中でも大きいものだと思っております。

右側に写真がございますが鈴蘭台西口駅、これは鈴蘭台からトンネルを抜けて駅舎に入っていくところの斜面が崩れて、線路上に押し寄せてきたと。柵をなぎ倒して、電柱もゆがんでいて、こういった被害が生じました。更に、復旧が一番最後まで掛かったのですが、藍那駅と西鈴蘭台駅の間では線路の下が、土砂がえぐれていると思えますけれども、これはしかも高さが7メートルぐらいあるんですけれども、高低差7メートル以上にわたってこれだけの土砂が流出し、線路が宙ぶらりんの状態になるというような状況になっておりました。更に、緑が丘と押部谷間では山肌が崩れて、土砂が流入といったようなことがありまして、これはもし運行をしているとなると、これに巻き込まれて大きな事故にもなりかねなかったというものでございます。

ちなみに参考として、左側に雨量計とこの災害が発生したであろう時刻を丸で書いております。赤が連続雨量で、青が1時間の雨量を書いているのですが、連続雨量がある程度積もってきてまして、そこに強い雨が来ると土砂災害の危険が高まるとい



うのはこのグラフからも見てとれるかなと思われま。す。で。す。か。ら。、。当。社。と。し。て。は。一。つ。の。基。準。と。し。て。、。こ。れ。は。降。り。方。と。か。地。域。と。か。、。そ。う。い。っ。た。こ。と。で。全。然。ま。た。状。況。が。、。勘。案。は。す。る。ん。で。す。け。れ。ど。も。、。一。つ。の。基。準。と。し。て。は。200ミリのと。こ。ろ。で。警。報。を。鳴。ら。し。て。、。こ。う。い。っ。た。こ。と。に。対。す。る。予。防。を。判。断。し。て。い。く。と。い。う。よ。う。な。措。置。を。や。っ。て。お。り。ま。す。

こ。れ。に。よ。り。ま。し。て。、。実。利。用。者。へ。の。影。響。で。ご。ざ。い。ま。す。け。れ。ど。も。、。こ。の。5日。か。ら。9日。ま。で。の。間。に。運。転。見。合。わ。せ。等。が。ご。ざ。い。ま。し。た。が。、。粟。生。線。に。お。い。て。1年。前。と。比。較。し。ま。す。と。、。約。7万。人。の。利。用。者。減。と。な。っ。た。こ。と。が。ご。ざ。い。ま。し。た。

そ。れ。と。、。こ。こ。に。は。記。載。し。て。お。り。ま。せ。ん。が。、。バ。ス。に。よ。る。代。行。輸。送。を。9日。の。平。日。の。朝。に。実。施。し。て。お。り。ま。す。当。日。は。木。津。駅。で。、。粟。生。線。か。ら。乗。っ。て。こ。ら。れ。て。神。戸。方。面。へ。行。か。れ。る。と。、。こ。の。か。た。が。木。津。駅。で。バ。ス。に。乗。換。え。を。強。い。ら。れ。た。わ。け。で。す。け。れ。ど。も。、。4人。ぐ。ら。い。の。列。が。木。津。駅。の。ロー。タ。リー。か。ら。駅。ま。で。4、。5百。メ。ー。トル。続。く。と。い。う。よ。う。な。、。バ。ス。を。13台。、。14台。ほ。ど。導。入。し。ま。し。て。や。り。ま。し。た。け。れ。ど。も。、。そ。れ。だ。け。の。時。間。が。掛。か。っ。て。、。30分。か。ら。1時。間。長。、。普。段。よ。り。時。間。が。掛。か。っ。て。通。勤。・。通。学。を。さ。れ。た。と。い。う。よ。う。な。状。況。が。生。じ。て。お。り。ま。し。た。

今。日。も。電。車。に。乗。っ。て。き。て。い。た。だ。い。た。か。た。は。分。か。る。と。思。い。ま。す。が。、。こ。れ。ら。の。被。災。箇。所。に。つ。い。て。は。応。急。処。置。は。施。し。て。、。列。車。の。運。行。上。支。障。の。な。い。状。況。に。な。っ。て。お。り。ま。す。け。れ。ど。も。、。ブルー。シ。ー。ト。が。掛。か。っ。て。い。た。り。、。土。の。う。が。積。み。上。げ。ら。れ。た。ま。ま。と。い。う。よ。う。な。こ。と。で。す。の。で。、。こ。れ。ら。に。つ。い。て。は。今。後。の。設。備。投。資。計。画。の。中。で。補。修。を。し。て。い。く。と。い。う。こ。と。に。な。り。ま。す。額。に。つ。い。て。は。ま。だ。算。定。し。て。い。な。い。の。で。す。が。、。大。き。な。金。額。だ。と。い。う。こ。と。を。ち。よ。っ。と。御。紹。介。申。し。上。げ。て。お。き。た。い。と。思。い。ま。す。こ。う。し。て。イン。フ。ラ。を。ち。ゃ。ん。と。整。え。て。安。全。・。安。心。を。確。保。し。て。い。く。と。い。う。こ。と。が。鉄。道。事。業。の。特。徴。で。も。ご。ざ。い。ま。す。の。で。、。こ。の。協。議。会。で。は。と。も。す。る。と。利。用。促。進。と。い。う。と。こ。ろ。に。着。目。点。が。行。っ。て。、。触。れ。ら。れ。る。こ。と。が。少。な。か。っ。た。と。思。い。ま。す。け。れ。ど。も。、。今。回。は。こ。う。い。う。こ。と。が。生。じ。ま。し。て。、。利。用。者。に。も。大。き。な。影。響。が。出。ま。し。た。の。で。御。紹。介。を。さ。せ。て。い。た。だ。き。ま。し。た。

続。き。ま。し。て。、。4の。3ペ。ー。ジ。で。利。用。状。況。で。ご。ざ。い。ま。す。4の。3ペ。ー。ジ。は。4～6月。の。間。の。利。用。状。況。と。い。う。こ。と。で。、。一。番。上。が。御。利。用。区。間。と。い。う。こ。と。で。、。粟。生。線。に。関。わ。る。利。用。者。数。を。基。に。算。定。を。し。た。の。が。二。つ。目。の。枠。で。、。214万。1、。000人。と。い。う。利。用。者。で。あ。っ。た。と。4～6月。は。比。較。的。人。の。移。動。が。多。い。季。節。で。す。の。で。、。年。間。は。こ。れ。を。4倍。に。し。た。ら。年。間。に。な。る。か。と。い。っ。た。ら。そ。う。で。は。な。く。、。こ。こ。が。ど。ち。ら。か。と。い。う。と。一。番。多。い。四。半。期。で。あ。る。と。い。う。ふ。う。に。思。っ。て。い。た。だ。い。た。ら。と。思。い。ま。す。

各。駅。の。状。況。は。以。下。の。と。お。り。で。あ。る。と。い。う。こ。と。で。、。次。の。ペ。ー。ジ。に。前。年。度。と。の。増。減。が。あ。り。ま。す。の。で。、。そ。ち。ら。で。御。説。明。を。さ。せ。て。い。た。だ。き。た。い。と。思。い。ま。す。1ペ。ー。ジ。を。め。く。っ。て。い。た。だ。き。ま。し。て。、。一。つ。目。の。枠。の。御。利。用。区。間。で。見。ま。す。と。、。最。初。の。プ。ラ。ス。2、。343と。書。い。て。あ。る。と。こ。ろ。は。粟。生。線。内。の。御。利。用。で。す。け。れ。ど。も。、。こ。こ。は。増。え。て。お。り。ま。す。一。方。、。他。社。局。と。書。い。て。あ。る。と。こ。ろ。が。マイ。ナス。1万。4、。000円。と。か。、。縦。列。で。一。番。下。に。あ。る。マイ。ナス。1万。3、。900と。か。い。う。数。字。が。出。て。い。ま。し。て。、。粟。生。線。か。ら。神。戸。方。面。に。行。か。れ。る。利。用。が。減。っ。て。い。る。と。い。う。傾。向。は。従。前。と。変。わ。り。な。い。と。い。う。と。こ。ろ。で。ご。ざ。い。ま。す。

二。つ。目。の。枠。で。ご。ざ。い。ま。す。け。れ。ど。も。、。こ。の。四。半。期。の。間。の。減。少。数。と。し。て。は。3万。5、。000人。と。い。う。こ。と。で。、。こ。こ。に。特。殊。要。因。と。し。て。は。大。阪。北。部。地。震。が。6月。18日。に。ご。ざ。い。ま。し。た。け。れ。ど。も。、。そ。の。影。響。が。5、。000人。超。あ。り。ま。す。の。で。、。実。質。的。に。は。3万。人。ぐ。ら。い。の。減。少。と。い。う。こ。と。で。、。1か。月。当。た。り。1万。人。づ。つ。減。っ。て。い。る。と。い。う。ふ。う。に。見。て。い。た。だ。い。た。ら。と。思。い。ま

す。対前年増減率がマイナス1.6%ということで、昨年1年間を通じて2.0%のマイナスでしたからいくぶんは減少率が減っているけれども、依然、月1万人を超える減少になっているということです。

駅別の状況でございますけれども、まず神戸市域で1万3,000人ほど減、三木市域で2万4,000人ほど減、小野市域で5,000人ほど減という状況でございます。増えているところも従前との説明とあまり変わらないのですけれども、木津駅は工業団地のたぶん入居率というよりは稼働率が上がっていることで利用者が増えていて、けっこう鈴蘭台周辺からパートのかた、アルバイトのかたが行ったりしているので、鈴蘭台西口なんかの利用も増えているというようなところは神戸市域の話でございます。

あと、三木市域で言いますと、三木上の丸が1日当たりプラス35になってございますが、ここにつきましてはレトロチのイベントがあったときにテレビの企画がございまして、沿線もそうなのですが、沿線外からもかなりの人がお越しになられたということでの利用の増となっております。あと、今年は私どもは90周年ということと、三木駅の焼失ということが広く全国にも報道されましたので、けっこう粟生線を見にいこうとかたがおられてですね、けっこう上の丸って写真スポットだったりしますので、来られているのもあるのかなというふうなところもあります。三木城址から美囊川橋梁を望むところが写真スポットというところでございます。

次に、小野市域については檜山の利用が増えていまして、らんらんバス匠台ルートができて以降、工業団地へ行かれるかたの御利用が増えているといった傾向が継続しているというような状況でございます。

以上、豪雨の影響と6月までの利用状況について御説明を申し上げます。

○会長

はい、ありがとうございます。

粟生線の利用状況について何か御意見、御質問等がありましたら、よろしく願いいたします。あれば、最後にまた、まとめていただいてもけっこうです。

## (2) モビリティ・マネジメントの取組状況について

○会長

それでは、引き続きまして、報告事項第2のモビリティ・マネジメントの取組状況について説明をお願いいたします。

○事務局

三木市都市整備部交通政策課の●●と申します。いつもお世話になっております。ありがとうございます。

それでは、着座の上、資料について御説明をさせていただきたいと思っております。

そういたしますと、モビリティ・マネジメントの取組状況についてということで、右肩に資料5と書いてございます資料をお手元に御準備いただけますでしょうか。

こちらが平成30年度、本年度のモビリティ・マネジメントの取組状況をまとめたものになっております。本年度につきましては全部で4件、今のところ実施しているということで、一番左側にナンバー1から4まで番号を振っております。

ナンバー1から2につきましては、神姫バス様にも御協力をいただきましてバスの乗り方教室を実施しております。1番の前田町公民館におけるモビリティ・マネジメ

ントにおきましては、粟生線のサポーターズクラブの概要等の説明等も実施しております。

ナンバー3につきましては、三木市の細川町という地域がございます、細川町豊かな町づくり推進協議会の主催の取組になっておりまして、こちらは地域ふれあいバスと路線バスですね、地域ふれあいバスというのは三木市が主体となっております、バスの運転は地域のボランティアのかたが実施されているわけがございますけれども、地域ふれあいバス、それから路線バスを乗り継ぎまして、大型の商業施設に買い物等に出掛ける「細川バス体験乗車会」というものを実施しています。

ナンバー4につきましては、神戸市様のほうの取組となっております、菅の台でのモビリティ・マネジメントということで、神戸市の総合交通体系等の御説明を実施しております。

以上の取組となっております、参加者数を全て合計いたしますと61人ということでございます。本年度、引き続きこの後もモビリティ・マネジメントの取組を進めていきたいと思っているところでございます。

以上、資料5の報告とさせていただきます。

○会長

ありがとうございました。

これについて何か御意見、御質問等はよろしいでしょうか。

### (3) 鉄道とバスの広域時刻表「粟生線&バス乗継ガイド」の作成について

○会長

では、引き続きまして報告事項第3、広域時刻表「粟生線&バス乗継ガイド」の作成について、引き続きお願いいたします。

○事務局

資料6につきまして、引き続き、御説明をさせていただきたいと思っております。

資料6、鉄道とバスの広域時刻表「粟生線&バス乗継ガイド」の作成についてということでございます。こちらは神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画の基本方針1に掲げております「鉄道を軸とした地域公共交通網の維持・形成」に基づきまして、鉄道とバスの連携強化を図るため時刻表を作成しております。昨年度も作成をしております、平成30年度、本年度につきましても、引き続き作成をするということでございます。

作成の内容につきましては、平成29年度に引き続きまして、地域公共交通調査事業に係る国庫補助金を活用させていただきまして、粟生線時刻表と粟生線各駅から利用できるバス時刻表が一体となった広域時刻表を作成いたします。この時刻表の作成によりまして、鉄道とバスの接続のほか、各駅におけるタクシー乗り場、駐車場、駐輪場の有無などの情報を提供しまして、公共交通の利用を促進していきたいというところ です。

本年度につきましては、粟生線沿線の観光地であったり、ウォーキングガイド等の情報を新たに掲載いたしまして、内容の充実を図る予定です。これによりまして、公共交通の利用による観光客数の増加であったり、地域の活性化というものを図っていききたいというふうに考えております。

作成部数につきましては、昨年度1万部でありましたけれども、今年度につきまし

ては1万5,000部とさせていただきたいというところです。

発行日、予定ですけれども、平成30年10月に神姫ゾーンバス様のほうでダイヤの改正があるということでお聞きしておりまして、それに合わせて、この時刻表につきましては9月末頃に発行する予定としております。

設置の箇所につきましては、神戸電鉄各駅、それから各公共施設等に設置をする予定としております。

資料6については、駆け足でございますが、御説明は以上とさせていただきます。

○会長

ありがとうございました。

本件について何か御意見等はございますでしょうか。

#### (4) らん♡らんバス「匠台ルート」の利用状況について

○会長

では、引き続き報告事項の第4、らん♡らんバス「匠台ルート」の利用状況について、小野市さん、お願いいたします。

○小野市

失礼いたします。小野市交通政策グループの●●より御説明申し上げます。着座で失礼いたします。

それでは、資料7のほうに匠台ルートの利用実績等をまとめておりますので、お手元に御用意をお願いいたします。

小野市コミュニティバス「らん♡らんバス」の匠台ルートにつきましては、昨年9月より粟生線の活性化や市内の就労関係の整備等を目的といたしまして運行開始しておりまして、神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画の方針2に掲げるまちづくりと連携した地域公共交通網の形成に関連した取組となっております。

その利用状況につきましては、資料に記載しているとおりにとなっておりますが、運行開始時の利用目標につきましては年間3万人、1か月あたりにいたしますと2,500人としておりまして、運行当初は目標を下回る結果となっておりますが、しだいに利用者を伸ばしておりまして、3月以降は1か月当たりの利用者が目標値である2,500人を上回る結果となっております。

また、去る7月1日には匠台ルートの更なる利便性向上及び利用者増加、また粟生線の活性化を図るため、利用実績に基づき運行ダイヤを一部改正したところであります。

今後につきましても、利用実績の分析を継続いたしまして、より利便性の高い運行を実施することで、粟生線活性化にもつなげてまいりたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

以上、簡単ではありますが、報告とさせていただきます。

○会長

ありがとうございました。

本件について何かございますでしょうか。

#### (5) 鈴蘭台駅前再開発ビルのオープンについて

では、引き続き報告事項の5、鈴蘭台駅前再開発ビルのオープンについて、神戸市

さんからよろしく願いいたします。

○神戸市

神戸市公共交通課の●●と申します。着座の上、説明させていただきます。

資料8を御覧ください。鈴蘭台駅前再開発ビルのオープンが9月25日にしますという形で、本市より5月31日に記者資料提供をさせていただきました資料になっております。こちらの取組に関しては、資料1の事業一覧で言いますと、基本方針1の②、交通結節点の強化ですとか、あとは方針2の④の1、沿線内の交通結節点におけるにぎわいの創出ですとかと、そういったところに基づく取組となっております。

簡単に内容を御説明させていただきますけれども、鈴蘭台駅前に関しましては、本市の北区の玄関口にふさわしい交通結節機能の改善とか、駅前のにぎわいづくりというところを図るために、再開発ビルの建設や交通広場等の駅前広場の整備を進めてきておりました。今年の9月25日にまず再開発ビルのオープンをするという運びになっております。

再開発ビルに関しましては、4～7階の上層階のほうに現在の北区役所の新庁舎が移りまして、1～3階の下層のほうには商業・業務施設が入ることになっております。そして、1階のピロティ部分に関しては、バス乗り場などの交通広場を整備していくということになっておまして、神戸電鉄様のほうにおかれましても、再開発ビルの3階部分で接続する新駅舎を同時期に供用開始をする予定になっております。

神戸市のほうで、引き続き、駅前広場の整備というところを32年の3月末の完成を目指して進めていきます。これに関しても御理解、御協力のほうをよろしく願いいたします。

本市の取組をもう少し説明させていただきますと、配布資料のほうに新開地・喜楽館に関するパンフレットというものを配らせていただいています。

一つが、こういった「こけら落とし特別公演」と赤字で書かれているものと、もう一つが「神戸新開地ぐるぐる歩きまっぷ」と書かれているものをお配りしております。

新開地に関しては喜楽館という施設をオープンしておまして、配らせていただいているパンフレットに7月から8月の公演のスケジュール等を書かせていただいております。また、機会があればお越しいただければと思います。

それに併せまして、ここに配られておますぐるぐる歩きまっぷ等を見ていただきながら、新開地のまちを楽しんでいただければと思います。

以上になります。

○会長

ありがとうございました。

この件について何か御意見、御質問等がありましたら挙手にてお願いをいたします。

(6) 「平日限定 ネスタリゾート神戸 電車&プール格安クーポン」の発売について

○会長

では、次に進ませていただきます。

続きまして報告事項第6、「平日限定 ネスタリゾート神戸 電車&プール格安クーポン」の発売について、これは神戸電鉄さんからよろしく願いいたします。

○神戸電鉄

神戸電鉄運輸部の●●から、資料9の「平日限定 ネスタリゾート神戸 電車&プ

ール格安クーポン」の発売について御報告をさせていただきます。着座にて説明させていただきます。

本取組は神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画の基本方針2、まちづくりと連携した地域公共交通網の形成に基づき、観光資源・観光拠点の活用を図るため実施するものです。

ネスタリゾート神戸のプールは関西最大級と言われておりまして、最大2トンの水が上から降り注ぐ「水の要塞」と言われるプールがあるほか、今年から日本初登場のスライダーが新たに設けられるなど、充実した設備でお客様にお楽しみいただけます。

夏の期間中の平日に限ってなんですけれども、ネスタリゾート神戸様が志染駅からネスタリゾート神戸間のシャトルバスを運行することになっておりますので、これに合わせて企画乗車券を御用意いたしました。

具体的な内容については資料に記載のとおりですけれども、7月9日から9月14日の間に発売し、この間に御利用いただけるというものになっております。さきほど申し上げましたとおり、平日限定での御利用ということになります。値段につきましては、大人が2,800円、小人が1,900円ということで、これで神戸電鉄の各駅から志染駅までの往復乗車券とプール入場券がセットになっております。

そのほかの詳細につきましては、1枚めくっていただきまして、ネスタリゾート神戸様のチラシを添付しておりますけれども、こちらを御覧いただきたいというふうに思っております。

ちなみに、昨年もこの企画乗車券を発売しております。昨年度は7月31日から9月20日頃までの発売でしたけれども、この間で約400枚の発売数ということで、今年の夏は非常に暑いこともありますので、昨年以上に発売数が伸びることを願っております。

簡単ですけれども、以上で報告を終わります。

○会長

ありがとうございました。

本件について何かございますでしょうか。

#### (7) 「神戸電鉄開業90周年記念事業」の実施について

##### ア 神戸電鉄開業90周年記念粟生線スタンプラリーの実施について

##### イ 「小野市産業フェスティバル2018」と連携した神戸電鉄開業90周年記念イベントの実施について

○会長

では、続きに移らせていただきます。神戸電鉄開業90周年記念事業の実施について御説明をよろしくお願いいたします。

○事務局

失礼します。三木市交通政策課の●●でございます。いつもお世話になっております。座って説明させていただきます。

私のほうからは、アの神戸電鉄開業90周年記念粟生線スタンプラリーの実施について御説明させていただきます。

お手元の資料10を御覧ください。

こちらにつきましては、神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画の方針3に掲げま

す地域公共交通の活性化及び利用促進に基づきまして、粟生線の周知・PRを図るとともに、粟生線の利用を促進するため、神戸電鉄開業90周年の記念イベントとして粟生線スタンプラリーを実施するものでございます。

イベント名としましては、神戸電鉄開業90周年記念粟生線スタンプラリーとしております。

実施期間としまして、平成30年10月1日から12月28日を予定しております。

事業内容につきましては、ラリーポイントとしまして下の沿線3市の観光地及び粟生線所定の駅にスタンプを設置いたします。

観光地等のうち1か所及び所定の駅の中から1か所の合計2か所のスタンプを押印された応募者のかたに対しまして、抽選で90名に神戸電鉄1日フリーパス券を贈呈いたします。更に、ダブルプレゼントとしまして、90名のうち9名につきましては抽選で沿線3市にちなんだ特産品、賞品ですね、こちらのほうを神戸市さんの分が3名分、三木市が3名分、小野市さんの分が3名分を贈呈を予定いたしております。

ラリーポイントとしましては、観光地としまして沿線3市のうち神戸市につきましてはすずらんの湯とこうべ環境未来館、三木市につきましてはネスタリゾート神戸と三木鉄道ふれあい館、小野市につきましてはゆぴか様とアルテ様を予定しております。粟生線の所定の駅につきましては、神戸市さんの駅が鈴蘭台駅と木津駅、三木市内の駅が緑が丘駅と三木駅、小野市さんの駅が小野駅と粟生駅の予定としております。

申込方法につきましては、イベントチラシに印刷されました返信用はがき、応募はがきですね、こちらにスタンプを押印していただきまして、必要事項を記入の上、郵送で応募申込をしていただきます。

以上でございます。

続きまして、伊の小野市さんのイベントにつきましては、小野市さんのほうからお願いいたします。

#### ○小野市

失礼いたします。小野市交通政策グループの●●より、「小野市産業フェスティバル2018」と連携した神戸電鉄開業90周年記念イベントの実施について御説明させていただきます。

こちらのイベントは、スタンプラリーと同様、神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画の方針3に掲げる地域公共交通の活性化及び利用促進に基づき、平成30年10月20日、土曜日、21日、日曜日の2日間にわたり小野市域において開催される「小野市産業フェスティバル2018」と連携いたしまして、そのいずれか1日において神戸電鉄開業90周年記念イベントを実施し、粟生線の周知・PR及び利用促進を図りたいと考えているところとなっております。

内容につきましては、イベント開催日の粟生線におけるメモリアルトレインの運行と、その車内で行う乗車促進イベントを検討しております。また、小野市産業フェスティバルの会場内で、粟生線活性化協議会ブースの出展やステージショーと「しんちゃん&てつくん」の共演など、神戸電鉄粟生線の周知・PRにつながるイベントを実施予定でありまして、今後も関係各所と協議を重ねて実施に移りたいと考えております。

以上、報告とさせていただきます。

#### ○会長

ありがとうございました。

この件について御質問等はございますでしょうか。

#### (8) 沿線市のふるさと納税を活用した利用促進策の取組について

○会長

では、引き続き報告事項の8、沿線市のふるさと納税を活用した利用促進策の取組について説明をお願いします。

○事務局

失礼します。続きまして、沿線市のふるさと納税を活用した利用促進策の取組につきまして、資料12に基づきまして御説明させていただきます。

こちらにつきましては、同じく形成計画の方針3に掲げます地域公共交通の活性化及び利用促進に基づきまして、自治体、交通事業者等が協働して、沿線市のふるさと納税を活用した利用促進策に取り組むものでございます。

事業の内容としましては、三木市へのふるさと納税の寄附者に対しまして、1万円の寄附につき4,000円相当額の返礼品として、特定の利用期間におきまして、神戸電鉄区間、湊川駅までですが、こちらが1日乗り放題となる神戸電鉄1日乗り放題チケットを3枚提供いたします。

提供期間としましては、平成30年9月1日から平成31年3月31日までの7か月間としております。

この返礼品の利用期間としましては、平成30年9月1日から平成31年8月31日までの1年間としております。

また、昨年度、平成29年度は、返礼品としまして神戸電鉄1日乗り放題チケット1枚と併せて有馬温泉太閤の湯利用チケット1枚を御提供させていただいておりましたが、こちらの太閤の湯様が平成30年5月7日から来年の平成31年3月31日まで大規模改修工事のため休館中でありますことから、今回はそれに代わるものとしまして、平成30年度の返礼品につきましては上記の内容とさせていただくものでございます。一番下が、乗り放題チケットの図柄となっております。

以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

この件について何か御意見、御質問はございますでしょうか。

ないようでしたら、報告事項については全て終了いたしました。

これに限らず、また会議全体について何か御意見等がありましたら、挙手にてお願いをいたします。

どうぞ、●●先生。

○●●委員

せっかくなので、意見というか要望を兼ねたコメントなのですが、資料6で「粟生線&バス乗継ガイド」を今年度も作成されるというお話があったので、昨年度とてもよかったという評価の中で、ただ、ちょっと字が小さいよねという話があったので、その辺りをまた工夫のできる範囲で工夫をしていただきたいなというのが一つ目と、二つ目は、今年度は観光地やウォーキングガイド等の情報、目的地に関する情報を載せようとされる、これはマップということだと思うので期待していますという応援の



言葉と、それとともにこうやって作られるので、ぜひ多様なMMのときにこれを活用するようなことも今後御検討いただければありがたいなというふうに感じました。

以上です。

○会長

貴重な意見、ありがとうございました。何か事務局のほうでありますか。

はい、どうぞ。

○事務局

今いただきました御意見を踏まえて、今年度の作成に当たってまいります。ありがとうございます。

○会長

他に御意見、御質問等はございますでしょうか。

どうぞ。

○副会長

資料7で匠台ルートの説明をさせていただきましたけど、7月20日にまた15名の定期券の販売が出てまいりました。今度小野市が困っているのは、バスに乗り切らない状況がちょっと出てくる可能性があります。従業員が増えてくれるのはいいし、神鉄も利用していただけるというのでありがたいのですが、若干どう対応するかというのは今ちょっと苦労をし始めていると。これ以上乗客が増えても、バスがすぐに確保できないというようなことがちょっと課題としてあるという報告だけさせていただきたいと思います。20日の15人が21日の土曜日に乗れるかどうか、うちの職員が行って、立ち番をしたんですけど、なんとか今は乗れているのですが、これに更に10人といったら、もう1台ということになったらバスがすぐに調達できないということがございまして、そこがちょっと課題かなと。15人乗ったら年間7,500人の乗客が増えてくるので、歓迎は歓迎なんですけど、ちょっと課題があるということだけ報告させていただきます。

○会長

ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

他に御意見、御質問ありますでしょうか。

はい、どうぞ、●●部長。

○●●委員

議事がスムーズに進行したので、ちょっと宣伝をさせていただこうかなと。お手元に沿線情報誌の「SUZURAN」を配布させていただいています。さきほど90周年事業については事務局のほうから御説明をいただいて、粟生線を中心に御説明をいただいたのですが、この「SUZURAN」の中に二つ折り込みが入ってしまっていて、真ん中の異質なものがまず90周年のパンフレットで、これが一枚物になってしまっていて、それプラス、青い「最高のおもてなし」と書いたおもてなし切符のパンフレットが入っております。このおもてなし切符は粟生線の活性化協議会の補助を受けて、沿線のお店と協働で企画切符をこしらえて販売しているもので、かなり人気の賞品でございます。裏面を見させていただきますと、大人1,200円、1日乗り放題プラスこの冊子の中にある料理を1品頼んでいただけるということですので、ものによっては700円、800円の料理が入っていますので、すごくお得なチケットだということ、また粟生線の活性化協議会でこういう取組をしているというのを一つ御紹介させて

いただきたいということと、その上でありました開業90周年の一枚物のリーフレットでございますが、粟生線でもいろいろなところとコラボさせていただいてイベントをやっているところですけども、有馬線、三田線等におきましても、公園都市線等におきましてもいろいろやってございます。粟生線に絡むところだけ申し上げますと、めくっていただいて、8月19日、「夏休み神鉄こども電車運転体験」を実施しますというのがございます。これは、当社では安全上の理由から一般のかたにハンドルを握っていただくということはこれまで実施してこなかったんですけども、他社でもやっているところをいろいろと勉強させていただきまして、今回90周年を機に、子ども対象でございますが、見津車庫において運転体験をしていただくということを神鉄初の試みとして実施します。

あと、右下のほうに、これはちょっと地味で申し訳ないのんですけども、コラボ記念ヘッドマークということで、三田市さんとのコラボもあるんですが、右側に兵庫県政150周年とのコラボということで、これは加古川線等利用促進協議会の取組でもございますけれども、北条鉄道さんなどでもやられていますし、加古川線でもやっていらっしゃるかと思いますが、県政150周年とコラボしたヘッドマークを掲出するといったようなことで雰囲気を盛り上げております。

こういった形で沿線でいろいろな催し、その他神鉄独自でやっているものもこの沿線上にあります。盛り上げてやっていっております。台風で大きな被害というか、減収もかなりあったのんですけども、取り返したいと思っていますので、ぜひこの夏はお出掛けいただいたらなと思っています。

以上でございます。

○会長

ありがとうございました。利用促進のほう、皆様よろしく願いをいたします。

ほかに何かございますでしょうか。

はい、どうぞ。●●さん、どうぞ。

○●●委員

資料4なのですけども、豪雨の影響なのですけども、神戸電鉄も土砂崩れとかということで不通になったのは久しぶりだと思っているのです。昔はよく鶴越のほう、あそこらでしょっちゅうありましたけれどもね。本当に今回の場合は、この絵を見て、これだけの藍那から西鈴蘭台は土砂がレールのこの下まで行っているのを、本当に短期間で修理されたのはすばらしいなと私は思っています。私は、実は12日の日に電車にどうしても乗らせてもらわないといけないので、私は緑が丘駅なんですけど、駅へ行ってみたら、7月9日やったかな、始発から動きますよと書いているから、12日に十分間に合ったなと思っています。このように土砂崩れがあっても、今回の場合は非常に短期間にやられたということは本当にありがたいなと思っています。ありがとうございました。

○会長

ありがとうございました。引き続き、よろしく願いいたします。

ほかに御意見、御質問ありますでしょうか。

よろしければ報告事項も終わりましたので、マイクを事務局に返します。

## 5 閉会

○事務局

それでは、仲田会長におかれましては、会議の進行、どうもありがとうございました。

それでは、これをもちまして第35回神戸電鉄粟生線活性化協議会を閉会といたします。

本日は非常に暑いということで、またお帰りの際につきましては水分補給等をされまして熱中症には十分注意をしていただきますようお願いしておきます。

それでは、本日は誠にありがとうございました。これをもって閉会といたします。